

令和2年度 大阪支部 事業実施状況について



広報部鳥 けんぼん
©2018 協会けんぽ大阪支部

大阪支部事業運営におけるKPI指標

【基盤的保険者機能関係】

赤字・・・現時点で目標未達成
青字・・・現時点で目標達成

事業項目		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績(時点)	
P.3	柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	①柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合	2.05%	2.05% 以下	2.19% (11月末)
P.4	サービス水準の向上	②サービススタンダードの達成状況	100%	100%	100% (11月末)
P.5		③現金給付等の申請に係る郵送化率	92.70%	93.0% 以上	95.8% (11月末)
P.6	限度額適用認定証の利用促進	④高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合	83.6%	88.0% 以上	78.7% (6月末)
P.7	被扶養者資格の再確認の徹底	⑤被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	90.0%	92.0% 以上	66.6% (11月末)
P.8	返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	⑥日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	90.9% ※1月末	95.0% 以上	91.41% (10月末)
P.9		⑦返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率	46.42%	46.42% 以上	31.02% (10月末)
P.10		⑧医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	0.095%	0.095% 以下	0.061% (8月末)
P.11	効果的なレセプト点検の推進	⑨社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.517%	0.517% 以上	0.430% (9月末)

大阪支部事業運営におけるKPI指標

【戦略的保険者機能関係】

事業項目		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績(時点)	
P.12		⑩生活習慣病予防健診実施率	41.2%	44.4% 以上	16.0%(10月末)
P.13	特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	⑪事業者健診データ取得率	5.1%	9.5% 以上	2.6%(10月末)
P.14		⑫被扶養者の特定健診受診率	24.6%	31.2% 以上	6.9%(10月末)
P.15	特定保健指導の実施率の向上	⑬特定保健指導の実施率	12.9%	17.4% 以上	7.4%(10月末)
P.16	重症化予防対策の推進	⑭受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	10.2%	12.9% 以上	11.3%(10月末)
P.17	広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	⑮広報活動における加入者理解率	42.30%	42.3% 以上	41.0%(10月) ※全国集計分
P.18		⑯全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	34.40%	37.0% 以上	36.28%(9月末)
P.19	ジェネリック医薬品の使用促進	⑰大阪支部のジェネリック医薬品使用割合	75.6%	77.8% 以上	75.9%(8月末)
P.20	医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ	⑱他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率	100%	100%を維持	100%
		⑲「経済・財政と暮らしの指標‘見える化’データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する	実施	実施	実施機会無

【組織体制】

事業項目		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績(時点)	
P.22	費用対効果を踏まえたコスト削減等	⑳一般競争入札に占める一者応札案件の割合	26.10%	20.0%以下	18.75%(11月末)

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務1グループ〉

・柔道整復施術療養費等の照会業務の強化

柔道整復施術療養費の患者照会については、システムの活用によって、照会件数が増加。今後も、多部位（施術箇所が3部位以上）かつ頻回（施術日数が月に15日以上）の申請については照会を強化。

KPI ①柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
2.05%	2.05%以下	2.19% （11月末）	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・患者照会送付件数（4月～9月）

- ①2部位かつ10日以上、3部位かつ5日以上受療者：30,192件（前年同期比 +1,108件）
- ②新規施術所で3部位以上受療者：1,590件（前年同期比 -1,638件）
- ③その他（通報、追加照会等）：103件（前年同期比 -268件）

・施術者照会（4～9月）

- 審査会指摘分：269件（前年同期比 +40件）

今後の取組

・大阪府臨床整形外科医会に所属している医療機関に対して、接骨院・整骨院への正しいかかり方などを掲載した「柔整ガイド」及び「柔整療養費にかかる医療費適正化ポスター」、「はり・きゅう・マッサージに関するリーフレット」を設置し、患者に配布してもらう事業を実施予定。（500医療機関）（令和3年2月予定）

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務1グループ〉

・サービス水準の向上

進捗状況を適切に管理し、傷病手当金等現金給付の申請受付から支給までの標準期間を遵守する。

KPI ② サービススタンダードの達成状況

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績 (時点)	予想
100%	100%	100%(11月末)	○

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・緊急事態宣言下では他支部の支援を受けたこともあったが、支部全体で繁閑に応じて処理する体制を敷いたことにより、現在までサービススタンダード100%を達成。

今後の取組

・山崩し活動を中心として基盤的保険者機能の強化に取り組み、確実な審査・支払を行える体制を堅持していく。

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務2グループ〉

サービス水準の向上

加入者の利便性向上のため、郵送化の向上に努めている。

KPI ③現金給付等の申請に係る郵送化率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
92.7%	93.0%以上	95.8%（11月末）	○

○…達成見込
×…達成困難
△…どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・申請件数の多い任意継続・限度額申請については、申請書と案内リーフレット、返信用封筒をセットにした「任意継続手続きセット」及び「限度額手続きセット」を作成し、事業所向けの広報等を実施するとともに、「任意継続手続きセット」は、市区町村窓口（18市区町村）・商工会議所（11商工会議所）に、「限度額手続きセット」は、医療機関（307医療機関）に設置している。

今後の取組

・年度末に向けて、例年、任意継続の申請が多い事業所・官公署等へ事前に「任意継続手続きセット」を送付するとともに、「限度額手続きセット」については、引き続き、設置医療機関の拡大を図る。

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務2グループ〉

・限度額適用認定証の利用促進

高額療養費制度の周知のため、事業主へのリーフレット等による広報を充実させるとともに、限度額適用認定証の申請書を医療機関等へ設置依頼を実施。また、高額療養費の未申請の加入者へのサービスとして、あらかじめ必要事項を記載した申請書(ターンアラウンド通知)を送付し、協会に返送してもらうことにより、高額療養費の申請漏れを防止する取組みを行った。

KPI ④高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績 (時点)	予想
83.6%	88.0%以上	78.7% (6月末)	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・職員の架電や訪問により、限度額適用認定申請書の設置協力依頼を実施。(令和2年11月末現在 307医療機関 ※令和2年3月31日時点278医療機関)また、設置中の医療機関のうち、昨年度中に申請書補充の要請のなかった116医療機関に「追加送付依頼書」を送付し、利用促進を図った。
- ・ホームページ及び納入告知書同封物に事業所向けの広報を実施した。

今後の取組

- ・引き続き、職員による架電や訪問を実施し、限度額適用認定申請書の設置医療機関の拡大を図るとともに、各種イベント等による限度額適用認定証の制度周知及び利用案内を実施する。

1. 基盤的保険者機能関係

・被扶養者資格の再確認の徹底

〈業務2グループ〉

保険料負担の抑制のため、保険給付及び高齢者医療制度における納付金の適正化を図ることを目的として、健康保険の被扶養者となっている方が、現在もその状況にあるかの確認を毎年実施している。全国における令和元年度の実施結果は、被扶養者から約6万6千人削除となり、その結果、高齢者医療制度への支援金等が、約15億円の減少となった。

KPI ⑤被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
90.0%	92.0%以上	66.6% (11月末)	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・10月3日より、7回に分けて、順次、対象事業所へ被扶養者状況リストを送付。（提出期限：令和2年11月30日）

今後の取組

- ・提出された被扶養者状況リスト等の内容確認を実施。
- ・未送達事業所の所在地調査及び再送付を実施。
- ・未提出事業所への届出勧奨の実施。

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務3グループ〉

- ・返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進
- ・資格喪失後受診による返納金債権の発生を防止するため、保険証の回収強化に取り組んでいる。
- ・資格喪失届提出時に保険証の添付がなかった場合、被保険者であった本人に対して、文書および電話にて返納勧奨を実施している。また、事業所については、資格喪失届提出の際に、保険証を添付いただくよう啓發文書を送付している。

KPI ⑥日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
90.9%※1月末	95.0%以上	91.41% (10月末)	×

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・令和2年10月時点の回収率においては、91.41%と昨年度（10月実績90.70%、最終値90.90%）回収率を上回っているものの、今年4月のコロナ渦において、KPI締切日までに回収済保険証の登録処理が間に合わなかったこともあり、KPI（回収率95.0%以上）の達成は厳しい状況。

今後の取組

・引き続き、被保険者あての文書催告に加え、電話による保険証返納勧奨を実施することにより、返納金債権の発生防止に努める。
・大阪支部独自で実施している事業所あての保険証返信用封筒を同封した啓發文書送付事業については、一定の効果を確認しており、引き続き実施する。

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務3グループ〉

・返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

発生した資格喪失後受診による返納金債権については、早期に文書及び電話による催告を実施するとともに、保険者間調整の推進、法的手続の実施等により、債権回収に努めている。

KPI ⑦返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績(時点)	予想
46.42%	46.42%以上	31.02% (10月末)	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・令和2年10月時点の現年度回収率は31.02%と、昨年度(10月実績33.55%)を下回って推移している。コロナ禍による調定事務の遅れがあったものの、過年度を含めた回収総額は増加している状況。今後、調定事務の遅れを取り戻すとともに、回収業務についても、催告スケジュール等を遵守し、債権回収に努める。

今後の取組

・催告スケジュールを遵守するとともに、効果を上げている大阪支部独自の色付き封筒催告を継続実施することにより、債権回収に努める。
・今年度より新たに実施している就業場所催告についても、一定の効果を上げており、引き続き、効率・効果的な催告を実施する。

1. 基盤的保険者機能関係

〈業務3グループ〉

- ・返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進
- ・資格喪失後受診による返納金債権の発生を防止するために、保険証の早期回収に努めている。
- ・資格喪失後受診の防止には事業主の協力が不可欠であり、事業主への啓発強化を推進している。

KPI ⑧医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
0.095%	0.095%以下	0.061% (8月末)	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合については、昨年度実績を下回ることが目標であり、令和2年8月時点においては、0.061%と昨年度（8月実績0.084%、最終値0.095%）より下回って推移している。

今後の取組

- ・資格喪失後の保険証を早期回収する取り組みについて、引き続き推進する。
- ・保険証返納率が低い事業所や無資格受診発生件数が多い事業所を中心に、文書および電話による啓発活動を実施する。

1. 基盤的保険者機能関係

〈レセプトグループ〉

・効果的なレセプト点検の推進

診療報酬が正しく請求されているか確認を行うとともに、医療費の適正化を図るために資格・外傷・内容点検の各点検を実施する。なお、点検担当者のスキルアップを図るために外部講師による研修会や、点検担当者の点検成績、能力に応じた実績評価を通じ、さらなる実績の向上に努める。

KPI ⑨社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
0.517%	0.517%以上	0.430% (9月末)	×

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・コロナ禍において、点検担当者の休業命令や交替制の在宅勤務により、査定額は減少傾向にある。令和2年度中は当面の間、在宅勤務対応は継続される見込みであり、点検時間短縮の状況で効率的、効果的な点検に特化して対応中。なお、社会保険診療報酬支払基金も同様に査定額が伸び悩んでいる。

今後の取組

・入院点検や高額な診療項目に絞った点検を行うとともに、そうした点検を進めるための研修会、在宅学習を行い査定額向上に向けて取り組む。また、チームミーティングや個別面談を通じて、スキルアップと意識の向上を図る。

2. 戦略的保険者機能関係

〈保健グループ〉

- ・特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上
- ・新型コロナによる緊急事態宣言後から5月末まで健診業務が一時中止。
- ・新型コロナの感染拡大防止のため、例年実施している協会けんぽ主催の集団健診について中止。
- ・生活習慣病予防健診新規委託機関の募集。

KPI ⑩生活習慣病予防健診実施率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
41.2%	44.4%以上	16.0% (10月末)	×

○・・・達成見込
 ×・・・達成困難
 △・・・どちらとも
 いない

R2年度の進捗状況

- ・生活習慣病予防健診委託機関数（11月末時点）：221 機関（対前年 + 1件）
- ・生活習慣病予防健診委託機関の現地調査（11月末時点）：37 件（対前年 + 8件）
- ・新規適用事業所へ健診案内の送付（7～12月）：7,347 件（対前年 -2,293件）
- ・任意継続加入者へ健診案内送付（6～12月）：24,195 件（対前年 - 136件）
- ・35歳到達者へ健診啓発DMハガキの送付（10月）：13,432 件 * 新規事業

今後の取組

- ・健診受診啓発に係る動画制作及びSNS・デジタルサイネージによる展開
- ・生活習慣病予防健診委託機関の現地調査
- ・R3年度契約更新及び年次案内に係る準備

2. 戦略的保険者機能関係

〈保健グループ〉

- ・特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上
- ・事業者健診データ提供に係る同意書取得勧奨業務委託(R1.7月～5月)
- ・事業者健診データ取得勧奨業務委託 (R1.10月～5月)

KPI ⑪事業者健診データ取得率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績 (時点)	予想
5.1%	9.5%以上	2.6%(10月末)	×

○…達成見込
×…達成困難
△…どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・事業者健診データ提供に係る同意書取得(4～10月) :243 件(対前年 -2,003件)
- ・事業者健診結果データ取得 (4～10月) :33,794件(対前年 -3,111件)

今後の取組

- ・事業者健診データ取得勧奨業務委託(契約期間:11/20～R3.3月)
- ・R3年度契約更新及び外部委託に係る準備

2. 戦略的保険者機能関係

〈保健グループ〉

- ・特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上
- ・新型コロナによる緊急事態宣言後から5月末まで健診業務が一時中止
- ・新型コロナの感染拡大防止のため、例年実施している協会けんぽ主催の集団健診について中止
- ・健診機関主催の集団健診情報を取りまとめた案内パンフレットを作成のうえ対象者へ送付

KPI ⑫被扶養者の特定健診受診率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
24.6%	31.2%以上	6.9%（10月末）	×

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・年度途中加入者へ受診券の送付（6～12月）：
59,521件（対前年 -6,683件）
- ・健診機関主催の集団健診について案内パンフレットを作成のうえ対象者（大阪府内在住・40～59歳）へ送付（10月・12月）：
178,253件（10月）、3,959件（12月）

今後の取組

- ・健診受診啓発に係る動画制作及びSNS・デジタルサイネージによる展開。
- ・対象者（大阪府内在住・60～74歳）へ院内受診啓発リーフレット等の送付（1月）。
- ・経年受診のパターンで階層化した受診勧奨（3月予定）。
- ・R3年度以降の自治体がん検診同日実施の連携強化に向けた取り組みの実施。

2. 戦略的保険者機能関係

〈保健グループ〉

- ・特定保健指導の実施率の向上
- ・新型コロナによる緊急事態宣言後から5月末まで特定保健指導業務が一時中止。
- ・外部専門機関への特定保健指導業務委託。・外部専門機関による遠隔面談の拡大
- ・メタボ予備軍である若年者(35歳～39歳)向けの文書支援。

KPI ⑬特定保健指導の実施率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績 (時点)	予想
12.9%	17.4%以上	7.4%(10月末)	×

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・保健指導委託健診機関数(11月末時点) : 67機関(対前年 +4件)
- ・保健指導委託外部専門機関数 : 大阪府内4機関、大阪府外1機関、継続支援1機関
- ・遠隔面談実施件数(11月末時点) : 529件(対前年 +514件)
- ・若年者(35歳～39歳)向けの文書支援(11月末時点) : 4,600件

今後の取組

- ・健診機関へR3年度目標件数の報告書を送付(2月)。
- ・健診機関による特定保健指導の新規契約拡大に向けた働きかけ(2月)。
- ・遠隔面談の体制整備及び推進に向けた取り組み。

2. 戦略的保険者機能関係

〈保健グループ〉

- ・重症化予防対策の推進
- ・一次二次対象者全員へ受診勧奨文書を送付
- ・支部保健師による電話勧奨
- ・健診機関による受診勧奨業務委託

KPI ⑭受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
10.2%	12.9%以上	11.3% (10月末)	×

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・一次二次受診勧奨文書の送付 : 24,632件
- ・支部保健師による電話勧奨件数 : 1,719件
- ・健診機関委託機関数 : 127機関

今後の取組

- ・受診勧奨委託健診機関拡大に向けた働きかけ(2月)。
- ・対象者向けのナッジを活用した受診勧奨リーフレット等の作成。
- ・事業主の理解を深めるためのターゲット事業所を絞った事業案内リーフレットの作成。

2. 戦略的保険者機能関係

〈企画総務グループ〉

・広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進(広報)

定例の納入告知書チラシや健康保険委員だよりについて、ユニバーサルデザインを採用する等のブラッシュアップを実施した。

KPI

⑮ 広報活動における協会けんぽ全体の加入者理解率

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績(時点)	予想
42.3%	42.3%以上	41.0% (10月)※全国集計分	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

保険料分野 : 関係団体(商工会議所)の広報誌に料率掲載を実施。
健診分野 : 4月 納入告知書チラシ、5月 健康保険委員だより
健康宣言・健康経営 : 7月～8月に集中的な広報を行う。7月 納入告知書チラシ、8月 健康保険委員だより(夏)号を健康経営に特化した内容で広報を実施。
医療のかかり方 : 納入告知書チラシ、子育て情報誌「まみたん」(1/8発行)

今後の取組

・大阪府中小企業団体中央会の広報誌に健康経営に関する記事を掲載するなど経済団体と連携した広報を実施する。
・健診啓発のためインターネット動画やデジタルサイネージで広報を実施する(3月)。
・医療のかかり方について、1月に子育て情報誌に広報を掲載する予定。

2. 戦略的保険者機能関係

〈企画総務グループ〉

- ・広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進(健康保険委員)
- ・未委嘱事業所に健康保険委員勧奨文書を送付。
- ・大規模事業所及び昨年度未勧奨の事業所には勧奨文書発送後、電話勧奨を実施。

KPI

⑩全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績 (時点)	予想
34.4%	37.0%以上	36.28% (9月末)	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・9月末までに9,997社に勧奨文書を送付。健康保険委員への登録率は12.5%。(昨年度実績11.4%)
- ・被保険者数500人以上の事業所及び昨年度未勧奨の事業所(321社)には勧奨文書発送後、電話勧奨を実施。

今後の取組

- ・引き続き健康保険委員拡大に向け、勧奨を実施。
- ・勧奨結果に基づき、登録率の向上、健康保険委員に対して、コラボヘルスに結びつける仕組みづくりを行う。

2. 戦略的保険者機能関係

〈企画総務グループ〉

・ジェネリック医薬品の使用促進

本部設定の緊急対策期間において、ジェネリックカルテを活用し、ジェネリック見える化ツールや実績リストを使用した医療機関訪問や調剤薬局への展開を実施。大阪府薬務課、大阪府薬剤師会、自治体、プロサッカークラブ、JGA等との連携により推進している。

KPI ⑰大阪支部のジェネリック医薬品使用割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
75.6%	77.8%以上	75.9% （8月末）	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

- ・R2.5 ガンバ大阪ジェネリック希望シールを610事業所に対して、約8,000枚を配布。
- ・R2.7 影響度の高い医療機関（200床以上・平均以下）10医療機関に訪問。
- ・R2.8 大阪府下の3,818調剤薬局に見える化ツール、ガンバ大阪ジェネリック希望シールを送付。
- ・R2.8 豊中市医師会に確認のうえ、豊中市内の332医療機関に見える化ツールを送付。
- ・R2.8より大東市と連携し、子ども医療対象者へ受領証発行時に啓発チラシ・ガンバ大阪ジェネリック希望シールを2,000枚配布。

今後の取組

- ・今後もジェネリックカルテによる分析を通し、ジェネリック見える化ツール等を活用して医療機関、薬局、自治体等へアプローチを図っていく。またプロサッカークラブと連携した啓発やターゲットを絞った広告、加入者向けのパイロット事業（生活視点のジェネリックレター）などを実施する
- ・セレッソ大阪ジェネリック希望シールの作成及び調剤薬局へのポスター展開、新聞広告を始めとするターゲットを絞った広告を実施予定

2. 戦略的保険者機能関係

〈企画総務グループ〉

・医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

大阪府に設置されている協議会等に参画して地域の医療政策の企画・立案に積極的にかかわり、保険者としての立場から効率的かつ効果的な地域医療の実現や医療費適正化などに関する意見を積極的に発信する。

KPI

⑱他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率

⑲「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する

	R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
⑱	100%	100%を維持	100%	○
⑲	実施	実施	実施機会無	△

○・・・達成見込
×・・・達成困難
△・・・どちらとも
いえない

R2年度の進捗状況

・地域医療構想調整会議は新型コロナウイルス感染症の影響により未開催。

今後の取組

- ・今後開催される全ての地域医療構想調整会議へ参加し、保険者の立場から発信する。
- ・大阪府、大阪がん循環器病予防センターと連携した医療費・特定健診データを活用した分析を実施。
- ・健診データ及びレセプトデータを活用し、大阪歯科大学との歯科に関する共同研究も引き続き実施。

3. 組織体制

〈企画総務グループ〉

・費用対効果を踏まえたコスト削減等

- ① 公告から入札及び納期までの十分な時間を確保し事業者に参加しやすい環境を提供する。
- ② 過去に実施したアンケートを分析し、事業者に分かりやすい仕様書を作成する。
- ③ 入札説明会の質疑応答で、事業者の入札参加の障壁となっている事象を聴取し、改善を図る。
- ④ 入札参加資格保有の事業者へ積極的な周知活動を行う。

KPI ⑳一般競争入札に占める一者応札案件の割合

R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績（時点）	予想
26.1%	20.0%以下	18.75% (11月末)	○

○・・・達成見込
 ×・・・達成困難
 △・・・どちらとも
 いえない

R2年度の進捗状況

入札案件16件のうち一者応札は3件（令和元年度は入札案件23件中6件）

【改善した点】

②アンケート

令和元年度のアンケートで把握した意見を反映（入札時期を早めてほしい、仕様書に昨年度の実績を載せてほしい等）

③入札説明会

全案件で実施（令和元年度は3件）。説明会が疑問を解消する機会となり、参加しやすくなっている。

④積極的な周知活動

大阪市の入札案件を落札した事業者3件に案内送付。入札参加には至らなかったが、うち1事業者から仕様書の求めあり。

今後の取組

今後も同様の取り組みを実施する。特に入札時期を早めてほしいという意見は多く、前年度より2～3週間前倒ししたが、今後も早期入札を進める。

【今後の入札案件予定件数】

6件

